

# 深津学区まちづくり計画

～ 未来にはばたく 活かに満ちた 豊かなまちづくり ～



2014年（平成26年）5月

深津学区まちづくり推進委員会

# も く じ

はじめに	P 1
第 1 章 深津学区の概要	P 2
第 2 章 深津学区の現状と課題	P 3
第 3 章 まちづくり基本計画	P 4
第 4 章 まちづくり行動計画	P 5
第 5 章 まちづくり計画の具体的な展開	P 6



深津学区と深津小学校

1989 (平成元年)年頃の風景

# はじめに

福山市では、市民一人ひとりがまちづくりの主演として、それぞれの特色や個性を活かし、まちづくりに取り組むことができるよう、「協働」を重点政策に掲げ、市民と行政がお互いの責任と役割を分担しながら、「自助」「共助」「公助」による協働のまちづくりを進めてきました。これまでの成果や課題を踏まえ、市制施行 100 周年となる 2016 年度(平成 28 年度)に向け、「どのようなまちづくりをめざしていくか」「そのためにはどんなことに取り組んでいく必要があるか」など、今後の方向性等を定め、具体的な取組が進められています。

そこで、深津学区でもまちづくりに関する方向性や重点項目を定め、具体的に取り組んでいく今後の取組をまとめた新たな行動計画を策定することにしました。

「ずっと住み続けたい」、「住み続ける事ができる」維持可能なまちづくりを進め、この行動計画に基づき、協働のまちづくりの取組を着実に実施する中、学区民誰もが「ふるさと深津」にほこりと愛着をもち、まちづくりの主演として「協働」を実感できる社会の実現をともにめざしていけるよう、この計画にそって事業を推進していきます。

2014 年(平成 26 年) 5 月

深津学区まちづくり推進委員会



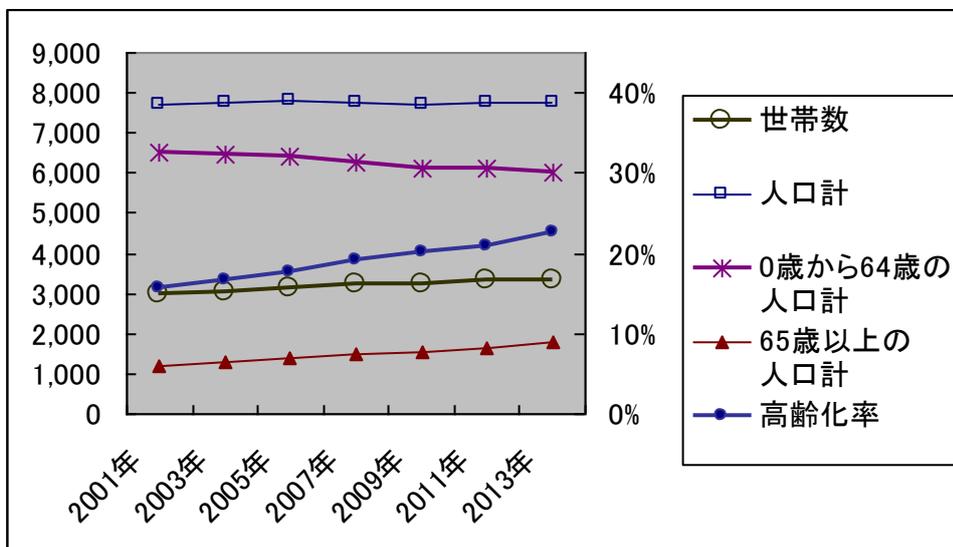
# 第1章 深津学区の概要

深津学区は福山市の中心部に位置し、万葉の時代より古い歴史を持つ商業住宅地として発展を続け、ふるさとを愛する心を育ててきました。

近年、少子高齢化をはじめ生活様式の多様化や情報化社会の進展によって、さらに核家族化へと大きく変化し、コミュニケーション不足が目立ってきています。

2013年(平成25年)3月末の人口7,765人、世帯数3,351世帯に対して町内会加入世帯数1,944世帯、加入率58%と減少しています。グラフで示すように、高齢化率も2001年(平成13年)には15.6%でしたが、2013年(平成25年)には22.7%に達しており高齢化が進んでいます。また一人暮らしの高齢者も多くなっています。

深津学区の人口及び世帯数の変化



同時に少子化も進んできており、子ども達を取り巻く環境はいじめ、ひきこもり、悪質な犯罪や事故の多発等、安全面でもさまざまな問題が発生し他人事ではなくなっています。このようなことから深津学区では、声掛けパトロール隊を結成し町内を巡視し、子ども達を守る活動をはじめています。

また、福山市が提唱する「100万本のばらのまちふくやま」をめざしてばら花壇作りにも力を注いでいます。公民館西隣緑地公園のばら花壇も一新し、ばらの咲きほこる公園となるようボランティアの方々が定期的に手入れをしています。

その他、江戸初期より伝わる時代行列の復活、夏祭り、ふれあいまつり等学区民全体が参加し、人と人とのふれあいや、生きがいのある豊かな生活、安心して暮らせるまちづくりをめざしています。

## 第2章 深津学区の現状と課題

＜アンケート調査及び住民学習会からみる現状と課題＞2013年(平成25年)7月実施  
 深津学区は古くからの歴史を受け継ぎ伝統行事を開催しています。また先人たちが残してくれた貴重な遺産も多く継承されています。

高齢化社会の中で2011年(平成23年)に、東日本大震災という未曾有の災害を目の当たりにし、ライフラインが遮断された状況の中でまず機能したのは、となり同士の支え合い・地域のつながりでした。住民同士の助け合いの大切さを再認識しました。深津学区においては、人間関係が希薄化し町内会加入率も低下しています。コミュニティを取戻していくためにも、地域活動や諸事業・行事に積極的に参画できる地域づくり、人づくりに取り組み、近隣住民の連帯意識の高揚に努めます。

また、アンケートの中に、防災意識の高まりとともに解りやすいハザードマップや避難場所の再確認、防災訓練の充実を求める意見もありました。災害に対応出来るまちづくりに努めます。

子ども達を取り巻く環境は通学路、とくに踏み切りの横断、道幅の狭い道路の登下校など交通環境の整備の問題もあります。安心して子ども達が登下校、そして安全に遊べる空間の確保や、悪質な犯罪に巻き込まれないための地域の見守り活動の必要性も見逃せない問題の一つです。

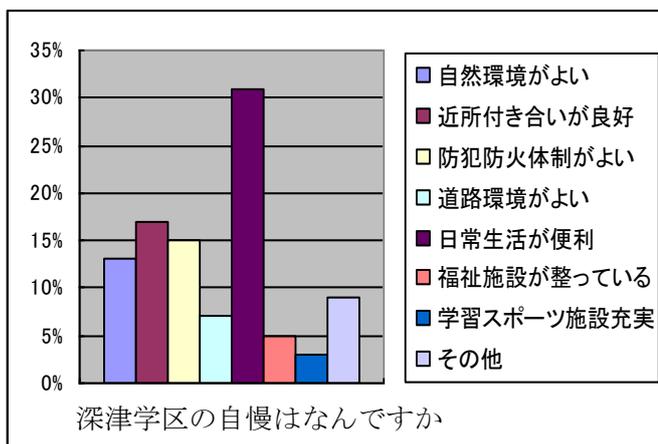
学区の中心部を流れる下出川の環境整備、用水路の蓋や柵の設置、街路灯の増設等まだまだ住みにくいと不安を抱えている人は多数いるようです。

また、福山市が提唱している「100万本のばらのまちふくやま」に連動し、深津学区においても13町内会の公園、空地を含めて1万本を目標に「みどりと太陽のまち」をめざします。

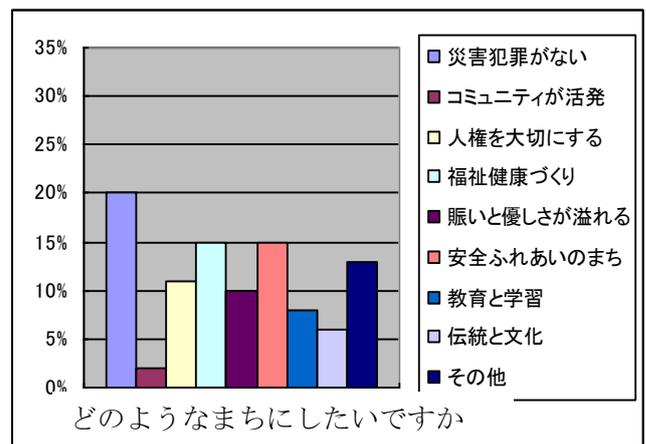
主役である住民によるアンケート調査や住民学習会でいただいた貴重な意見を基に、まちづくり活動の展開を掲げました。福山市行政と協働で実施するものについて、まちづくり推進委員会で協議し優先度の高いものから行政等に働きかけていきます。また、学区で展開・実施出来るものについては積極的に取り組んでいきます。

以上のようにいろいろ課題はありますが、住民一人ひとりが「まちづくりの主役」として地域のめざすべき課題、解決すべき課題をみんなで共有し、「地域まちづくり計画」として取り組み、「未来にはばたく 活力に満ちた 豊かなまちづくり」を自治会連合会を中心に各種団体と連携しながら進めていきます。

まちづくりに関するアンケート調査



2013年(平成25年)7月実施



# 第3章 まちづくり基本計画

## 2014年度(平成26年度) 活動方針

福山市では2006年(平成18年)より「協働」を重点に掲げ、専門グループ及びそれぞれの地域(学区)で、「まちづくり推進事業」が行われています。深津学区においても、これからは更に充実した「教育文化」「環境」「福祉」「健康」を軸に安心・安全で、誰もが「ふるさと深津」に誇りと愛着がもてる「まちづくり」を創造していきます。

### 活動目標

1. 教育文化事業の推進
2. 環境整備の推進
3. 福祉の増進
4. 健康推進
5. 安心・安全の対策
6. 女性参画事業の推進

### 地域まちづくり計画推進事業について

深津学区では目標を達成するにあたり、学区及び行政からの情報提供の広報活動「学区だより・公民館だより」の発行、盆おどり大会、ふれあいまつり(推進大会)等、多くの学区民が参加できる催しを推進します。また学区体育会との共催でグラウンドゴルフ大会、ウォークラリー大会や、福祉を高める会との共催で高齢者への友愛訪問、ばら鑑賞会・コンサートへの招待、七夕、クリスマス会等を開催し、健康でいきいきとした生活が送れるよう健康寿命の増進を図ります。

福山市が提唱している「100万本のばらのまちふくやま」に連動し、深津学区も13町内会の公園や空地を含めて1万本を目標に「みどりと太陽のまち」をめざします。また、下井手川を美しい川に蘇らせる活動とホタルの幼虫の増殖、ごみの減量化に努め資源回収の推進を行います。

子どもの登下校の交通指導、声かけパトロールを継続するなかで放課後の安心・安全な居場所づくりを進め、地域・学校・行政と連動して子どもを見守り、未来の「ふかつ」を担う子どもを地域全体で育てていきます。

男女共同参画事業として、女子懇談会等を行ない、女性組織の実現に努力します。

更に、福山市消防団深津分団及び北防火協会深津支部の協力を得て防災訓練等を行ない、深津学区での災害や犯罪の起りにくい安心・安全な環境整備に努めます。



# 第4章 まちづくり行動計画

## 推進方針と推進事業内容

NO	基本計画	事業内容	役割分担		スケジュール	
			住民	協働	短期	長期継続
1	教育文化事業	映画鑑賞会	●			●
		時代行列の支援	●			●
		世代間交流サロン	●			●
		ふれあい夏まつり	●			●
		ふれあいまつり(推進大会)	●			●
		広報活動(学区だよりほか)	●			●
		次世代の地域の担い手育成	●			●
2	環境整備事業	深津緑地 ばら花壇整備	●			●
		側溝の安全対策		●		●
		下出川蘇らせホタルの増殖	●			●
		町内一斉清掃	●			●
		資源回収				●
		正しいごみの分別啓発		●		●
		エコ活動の推進		●		●
3	福祉の増進事業	敬老会の支援	●	●		●
		高齢者のばら鑑賞会へ招待	●		◎	●
		七夕・クリスマス会	●		◎	●
		高齢者への友愛訪問	●		◎	●
4	健康推進事業	グラウンドゴルフ大会	●			●
		ウォークラリー大会	●			●
		軽運動の普及				●
		スポーツ教室・大会の開催				●
5	安心・安全事業	声かけパトロールの継続	●	●	◎	●
		防火・防災・防犯の意識の高揚	●	●		●
		自主防災訓練の実施	●	●	◎	●
		通学路踏み切りの歩道整備		●		●
		防犯灯の充実		●		●
		道路標識の設置		●		●
6	女性参画事業	女子会懇談会の開催	●			●
		女性組織の実現	●			●

## 第5章 まちづくり計画の具体的な展開

### 1 推進方法

#### (1) 住民ぐるみの推進展開

この計画を着実に実現するためには、住民の主体性を喚起し「アンケート調査」を行い、住民ぐるみの「協働のまちづくり運動」を推進します。

#### (2) 住民の理解と協力

広く住民に対し、まちづくりの役割や関心を高め、正しい理解と認識が得られるよう関係者が一丸となって啓発や交流に取り組み、まちづくりの合意形成に努めます。

### 2 推進体制

#### (1) まちづくり推進委員会

- ・計画の円滑な推進や住民から寄せられた声の実現をめざす委員会の強化
- ・まちづくりの適切な実態の把握
- ・関係機関・団体、住民等との緊密な連携
- ・活動の展開に柔軟に対応する組織整備

#### (2) 各町内会・各種団体・住民の果たす役割

- ・各町内会・団体は、地域の特徴を生かし、創意工夫をこらした主体的な取組が必要であり、まちづくり計画の役割を十分理解し積極的な指導・協力体制が不可欠です。
- ・住民相互に、情報の共有化をはかり、まちづくりの事業充実のために、新たな展望や相互協力体制の構築が求められます。

### ☆ 目標達成時期

**[短期事業 2014 年度(平成 26 年度) ～ 2015 年度(平成 27 年度)]**

まちづくり計画について周知と意識醸成を図る。

計画全体を通し、事業計画、事業効果、重要度を勘案し事業の具体的要領を決める。

今年度は、まちづくり行動計画に示す◎の事業を実施します。

### ☆ 目標達成時期

**[中期事業 2016 年度(平成 28 年度) ～ 2017 年度(平成 29 年度)]**

本計画を軌道に乗せる最重要時期と位置づけ、必要に応じて計画の見直しを図り、全力を挙げて事業の実施に取り組みます。

### ☆ 目標達成時期

**[長期継続事業 2018 年度(平成 30 年度)]**

社会情勢の変化に応じて、計画全体を精査し取組を総括して事業の見直しや改善を行い、さらに上のレベルの取組をめざします。



深津緑地ばら花壇



グラウンドゴルフ大会



学区秋のふれあいまつり



自主防災訓練



